

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フュートレック

コード番号 2468 URL <http://www.fuetrek.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤木 英幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長

(氏名) 嶋田 和子

TEL 06-4806-3112

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	972	9.3	254	45.0	260	43.8	155	48.2
21年3月期第2四半期	889	—	175	—	181	—	104	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	6,671.83	—
21年3月期第2四半期	4,444.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	2,524	2,276	88.7	96,180.91
21年3月期	2,421	2,181	88.6	92,135.62

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,239百万円 21年3月期 2,145百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	2,700.00	2,700.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	1,850.00	1,850.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年10月1日付にて普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割いたしました。22年3月期(予想)の期末は、当該株式分割を考慮しております。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	6.9	500	23.7	500	20.4	300	35.1	6,442.75

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

平成21年10月1日付にて普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割いたしました。平成22年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は4ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 23,648株 21年3月期 23,648株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 366株 21年3月期 366株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 23,282株 21年3月期第2四半期 23,576株

(注)平成21年10月1日付にて普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っており、本資料提出日現在の発行済株式総数は、47,296株となっております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に回復の兆しが伝えられたものの、失業率が過去最高水準となるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。当社グループの主なビジネスマーケットであります携帯電話業界においても、個人消費の低迷などを背景に、携帯電話出荷台数は2009年8月度において前年同期比89.7%と14ヶ月連続のマイナスとなっています。

このような経済環境のもと当社グループにおいては、音源事業と音声認識事業を核に新規事業領域であるUIソリューション事業を加え、積極的なビジネスを展開しました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績としましては、売上高は972百万円（前年同期比82百万円、9.3%増）、営業利益は254百万円（同78百万円、45.0%増）、経常利益は260百万円（同79百万円、43.8%増）、四半期純利益は155百万円（同50百万円、48.2%増）となりました。

各事業部の当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりです。

事業の部門別	第9期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	第10期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
第1事業部	544	409	△134
音源部門	544	409	△134
第2事業部	166	100	△65
受託開発部門	104	39	△64
カード部門	62	61	△0
第3事業部	179	258	79
音声認識部門	179	258	79
第4事業部	—	202	202
UIソリューション部門	—	202	202
売上合計	889	972	82

① 第1事業部（音源部門）

売上高は、409百万円（前年同期比134百万円減）となりました。

音源に関する売上は、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ（以下「NTTドコモ」という。）との音源IPライセンス契約に基づき、同社からロイヤルティ収入を得ており、国内市場においては、一定の売上が確保できる体制となっていますが、第9期の後半から割賦販売方式導入や国内消費低迷により、国内市場における音源搭載台数が伸び悩んでいます。これにより当第2四半期連結累計期間におきましても、前第2四半期連結累計期間と比較し、売上は下回りました。

② 第2事業部（受託開発・カード部門）

売上高は、100百万円（前年同期比65百万円減）となりました。

受託開発部門は39百万円（同64百万円減）、カード部門は61百万円（同0百万円減）と、カード部門における書込みは前第2四半期連結累計期間と比較しほぼ横ばいでありましたが、受託開発においては前第3四半期連結会計期間に子会社である株式会社インストームが連結範囲から外れたこと及び自動車業界全体の低迷の影響を強く受け、前第2四半期連結累計期間と比較し、売上は下回りました。

③ 第3事業部（音声認識部門）

売上高は、258百万円（前年同期比79百万円増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、カスタマイズ業務及び、ランニングロイヤルティによる収入が順調に推移したため売上増となりました。ランニングロイヤルティ収入については第1四半期連結会計期間において携帯電話向けに新しい音声認識エンジンをNTTドコモに提供し搭載されたことも売上増に貢献しています。

④ 第4事業部（UIソリューション部門）

売上高は、202百万円となりました。

同事業部は、当期より新設された事業部であり「使いかたナビ®」という電子ヘルプ機能技術を新たな商品として事業化した部門です。

事業部として発足初年度ですが、当第2四半期連結累計期間における売上高は、予想以上に順調に推移したため大きな売上となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ103百万円増加し、2,524百万円となりまし

た。

総資産の内訳は、流動資産が1,895百万円（前連結会計年度末比101百万円増）、固定資産が628百万円（同2百万円増）です。

流動資産の主な増加要因は、売掛金の増加75百万円によるものであり、固定資産の主な増加要因は、有形固定資産8百万円の取得によるものです。

負債の部では、買掛金の増加23百万円等により、248百万円（同8百万円増）となりました。

純資産の部では、利益剰余金の増加92百万円等により2,276百万円（同94百万円増）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し、1,437百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果得られた資金は212百万円（前年同四半期は190百万円の獲得）となりました。

これは、主な増加要因としまして税金等調整前四半期純利益を260百万円計上したほか、非資金費用である減価償却を124百万円実施したことによります。減少要因としては売上債権の増加75百万円及び、法人税等の支払124百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は135百万円（前年同四半期は33百万円の使用）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出15百万円及び、無形固定資産の取得による支出119百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果使用した資金は62百万円（前年同四半期は1百万円の獲得）となりました。

これは、主に配当金の支払62百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間業績は、音声認識ビジネスの伸張とUIソリューション事業の順調な推移により、売上及び利益は予想を上回りましたが、通期連結業績予想につきましては、研究開発並びに増員による費用の増加、関連子会社の業績推移及び携帯電話を取巻く環境の変化等の不安定要素もあり、現時点での連結業績予想の修正は行いません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①売上高及び売上原価の計上基準の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用していましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手したプロジェクトから、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるプロジェクトについては工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他のプロジェクトについては工事完成基準を適用しています。

これにより、損益に与える影響はありません。

②表示方法の変更

1. 前第2四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「支払利息」

は、当社グループの営業外費用の状況をより明瞭に表示するため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。

2. 前第2四半期連結累計期間において「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「支払利息」は、当社グループの状況をより明瞭に表示するため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	437,210	623,162
売掛金	402,046	326,737
有価証券	1,000,000	800,000
仕掛品	11,795	2,728
その他	46,019	42,914
貸倒引当金	△1,228	△995
流動資産合計	1,895,843	1,794,547
固定資産		
有形固定資産	34,017	31,217
無形固定資産		
のれん	63,804	67,991
ソフトウェア	445,063	443,250
その他	2,148	2,434
無形固定資産合計	511,015	513,676
投資その他の資産	83,450	81,587
固定資産合計	628,483	626,481
資産合計	2,524,327	2,421,028
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,146	49,230
未払法人税等	105,983	127,428
賞与引当金	31,298	29,392
その他	36,065	31,819
流動負債合計	246,494	237,871
固定負債		
リース債務	1,624	1,906
固定負債合計	1,624	1,906
負債合計	248,118	239,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	716,570	716,570
資本剰余金	914,795	914,795
利益剰余金	682,252	589,779
自己株式	△69,963	△69,963
株主資本合計	2,243,653	2,151,181
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,369	△6,079
評価・換算差額等合計	△4,369	△6,079
少数株主持分	36,924	36,148
純資産合計	2,276,208	2,181,250
負債純資産合計	2,524,327	2,421,028

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	889,459	972,390
売上原価	381,039	417,891
売上総利益	508,419	554,498
販売費及び一般管理費	333,281	300,462
営業利益	175,137	254,035
営業外収益		
受取利息	3,779	2,588
受取配当金	1,094	—
助成金収入	1,700	3,300
その他	34	1,299
営業外収益合計	6,608	7,187
営業外費用		
支払利息	—	40
株式交付費	463	—
支払手数料	—	585
その他	19	—
営業外費用合計	483	626
経常利益	181,262	260,597
特別利益		
貸倒引当金戻入額	445	—
特別利益合計	445	—
税金等調整前四半期純利益	181,708	260,597
法人税、住民税及び事業税	86,100	103,443
法人税等調整額	△6,743	1,044
法人税等合計	79,357	104,487
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,436	775
四半期純利益	104,787	155,333

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	181,708	260,597
減価償却費	48,203	124,352
のれん償却額	3,936	4,186
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△445	233
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,312	1,905
受取利息及び受取配当金	△4,874	△2,588
支払利息	—	40
売上債権の増減額 (△は増加)	140,352	△75,309
たな卸資産の増減額 (△は増加)	442	△9,079
仕入債務の増減額 (△は減少)	△100,745	23,915
未払金の増減額 (△は減少)	6,027	△6,791
その他	△16,745	13,192
小計	264,173	334,657
利息及び配当金の受取額	6,507	2,473
利息の支払額	△19	△40
法人税等の支払額	△80,116	△124,957
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,545	212,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,712	△15,463
無形固定資産の取得による支出	△23,763	△119,466
投資有価証券の取得による支出	△6,661	—
その他	554	△814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,583	△135,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	38,362	—
配当金の支払額	△36,589	△62,064
その他	△133	△274
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,638	△62,339
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	158,601	14,048
現金及び現金同等物の期首残高	1,331,068	1,423,162
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,489,669	1,437,210

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当連結グループは同一セグメントに属するソフトウェア及びL S I の設計開発を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。